

## 地域おこし協力隊奮闘記 ～小池隊員の場合～



初めてイノシシを  
獲ったとき



作者：小池ぬーみん



1

これからも地域の

「困った」をなくす活動を

こんにちは、地域おこし協力隊の小池です。

いすみ市の地域おこし協力隊に就任してから早3年、皆様の多大なるご支援のおかげで、1月末に無事に任期を終えることとなりました。

メインミッションは

有害鳥獣対策

私の協力隊のミッション

は有害鳥獣対策。狩猟免許を取得し、日々有害鳥獣の知識をつけながら、地域の方に寄り添えるよう活動してまいりました。現在はいすみ市有害鳥獣駆除隊としても活動しています。

また、次世代の地域を担う若者の育成を視野に入れた「小中学生に向けた狩猟体験」の開催や、狩猟等で捕獲したイノシシ等を活用するべく、イノシシ革を使ったベビーシューズや財布などの活用などを行いました。

地域の「なんでも屋」活動

コロナ禍で大々的なイベントを行うことが難しくなった時に、地域の方に対して自分ができること

なんだろう?と考えた時に、思いついたのが「なんでも屋」活動でした。

自分のできることは「なんでも」お手伝い!の精神で活動し、リピートしてくださる方を合わせると、のべ200回弱程度はお手伝いを行ってきました。

活動内容は草刈りや家の片付けにはじまり、動画の撮影や編集などのパソコン作業、はては蜂の駆除までできることはなんでも行ってきました。

それ以外にも...

山のゴミ拾い活動、古民家の改修手伝い、旧夷隅町を対象としたタクシー事業、各マルシェ手伝い、移住支援活動など...

この協力隊の任期中にたくさん経験を積ませていただきました。

これからの活動

協力隊を卒業してからも変わらず地域の方の「困った」を減らす活動していきます。

まだまだ若輩者ではありますが精一杯頑張っていきますので、これからもご指導のほどよろしくお願い致します。

### 写真の説明

- ①地域おこし協力隊 小池優作さん
- ②狩猟体験の様子
- ③イノシシ革の財布
- ④「なんでも屋活動」の様子



4



3



2